

令和2年度 佐久市総合計画審議会 第2部会（第1回） 会議録

日時：令和2年7月16日（木）

午前10時から

場所：佐久市役所6階602会議室

【出席者】6名

【事務局】若林企画課長、木下企画調整係長、井出、大内、金澤

1 開 会

2 議 事

(1) 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

	<p>【基本目標①】 進行管理について</p> <p>はじめに、前回の全体会でもご説明申し上げましたが、再度委員の皆様にご審議いただく上での留意点を説明させていただきます。</p> <p>地方創生を実現するためには、事業を実施するだけでなく、従来の政策の反省の上に立ち、PDCAサイクルを確立していくことが必要です。PDCAサイクルに基づく効果検証・進行管理の実践は、地方創生に向けた、より効果的な施策の推進に必要不可欠なものです。</p> <p>委員の皆様には、KPI未達成の事業に対しては、そもそもKPIの設定自体が高すぎたのではないかも含め、どう改善すれば目標値に近づけたのか、KPI達成の事業に対しては、KPIの設定自体が低すぎたのではないかも含め、更なる効果を生むためにはどうすればいいかなどの意見を頂戴したいと思っております。</p> <p>また、基本目標①、②を達成するために、「こういう地方創生事業をやったほうがいい」という意見もあれば頂戴したいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">【事務局から（1）説明】</p>
事務局	
委員	<p>P6の空き店舗対策事業について、実績値は伸びていますが、これによった効果や実際に継続している事業者を評価しないのですか。</p>
事務局	<p>創業支援した店舗がずっと続いて欲しいという願いは、所管課としては当然あるのですが、その店舗の状況をずっと追いかけていくことは、実情として難しいものがあると思っております。手元にデータが</p>

委員	<p>ないため、詳細は確認いたします。</p> <p>補助したところが全てうまくいくはずはないと思うので、補助したうち、辞めてしまったとか、こういう店舗くらいは追いかけていったほうが良いと思います。</p> <p>他の事業についても、同じように追いかけていったほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>様々な事業を行っている中で、アウトカム部分を追いきれるものと追いきれないものもありますが、可能な限り追いきれるようにしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>実績とすれば達成しているんですね。</p>
委員	<p>目安値について質問させてください。この目安値は10年後の大きな目標があって、それを段階的に上げていっているのか、それとも、毎年毎年KPIを設定しているものなのですか。</p>
事務局	<p>この評価報告書は、第1期の評価報告書として、昨年度で第1期の総合戦略期間は終了しています。平成27年度に市の総合戦略がスタートしましたが、目標値については、主として平成26年度の数値を基準値とし、目標年次の令和元年度における目標値をそれぞれ設定したところですが、そのため、各年度の進捗を確認するために、5年間にわたってどのくらい上がっていくかの目安として、各年度に目安値を設定して管理してきました。ただ、投資効果がすぐに現れない事業もありますので、目安値を調整しているものもあります。今回の評価に関しては、すでに終了した事業なので、最終の目標値に対して実績値がどうなのかという視点で評価していただければと思います。</p> <p>今年度から第2期の総合戦略が動き出していて、来年度は新しい総合戦略の評価をしていただくこととなります。</p>
委員	<p>今のお答えだと、来年度には長期的な計画が出てくるわけですね。過去に策定した計画の評価に対して審議しているわけですね。</p>
委員	<p>今説明いただいた箇所は、ほぼ達成か概ね達成になっていますが、未公表についてはどのように取り扱われるのでしょうか。</p>

事務局	<p>未公表については、過去の実績を見ながらの評価になってしまうのですが、K P I そのものについては、達成していればどこが良かったのか、達成していなければどこを直したらいいのか、という性質のものであります。未公表も継続して数値を把握して、所管課で改善点を分析していきたいと思っております。</p>
委員	<p>私が退職してハローワークに通っていた頃の話ですが、有効求人倍率が1を超えている時期でした。1を超えてる時期は、選ばれない仕事があるということですね。その部分に対する調整というか、どういう形で調整されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>第1期総合戦略としては、市内事業所の従業員数が伸びていくということを目標としていて、それを達成するために、総合戦略に記載した事業を実施してまいりました。委員さんおっしゃられたように、選ばれない仕事をどう選ばれるようにするかという視点がこの第1期総合戦略にあったかということ、直接的な事業は掲載していないかなど私は感じています。第2期の総合戦略においては、選ばれない仕事をどうしていくか、新たなK P I 設定したり、新たな視点など、いただいたご意見を基に、私どもも検討してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">【事務局から（2）、（3）説明】</p>
委員	<p>P 15 の移住者の雇用に対する補助の実施ですが、雇用の対象者は県外でしたか、市外でしたか。</p>
事務局	<p>佐久広域圏外から移住した者が対象です。</p>
委員	<p>補助金の交付条件は、1年間雇用ですか。</p>
事務局	<p>一定期間雇用をした実績をもって補助をさせていただくようになっています。期間については確認させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【基本目標②】進行管理について</p> <p style="text-align: center;">【事務局から（1）、（2）説明】</p>

委員	<p>社会増減についての理由は分かりますか。例えば、リタイヤして引っ越してきた、仕事で引っ越してきたなど、理由が捕まえられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>社会増は、転入者と転出者の差でありますので、全ての転入者の転入理由を捉えられているかと申しますと、捉えられておりません。しかし、第2期総合戦略策定時には、移住者アンケートを実施し、大まかな傾向等を掴んでおります。</p>
委員	<p>1,147人の捉え方だが、移住した人の割合が多いという捉え方でいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>国が地方創生をスタートさせたのが平成26年12月だったかと思いますが、そのときの国のアンケートでは、田舎暮らし志向が強くなってきていると言われていました。佐久市の傾向としても、平成17年に合併して以降、平成27年に戦略を策定するまで、トレンドとして、毎年100人程度増えていましたので、佐久市には一定の強みがあるということで戦略でも倍増していこうという数値目標を設定しました。</p> <p>仕事など一過性の方もいらっしゃると思いますが、佐久市に移住された方の多くは、佐久市の良さが分かり、居を構えられ、そのまま定住されると言われていますので、定住人口増につながっていると思います。</p>
委員	<p>これで、コロナでテレワークが普及すると追い風になるかもしれませんね。</p>
委員	<p>他の移住促進策とリンクして実施できるといいですね。</p>
事務局	<p>市でも移住サポートプランという様々な補助金がありまして、また、移住促進交流員を佐久に2名、首都圏に1名置き、移住施策を進めております（令和2年度から首都圏の推進員は廃止）。</p>
委員	<p>従来、長野県内の市の人口は、上位から長野市、松本市、上田市、飯田市だったのですが、最近飯田市の人口減少が激しく、佐久市が4番目に上がりました。県における佐久市の位置付けでは、力がついて</p>

	<p>きたと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>社会人口は増えていますが、空き家バンク登録物件が増えていないのは、ミスマッチが起こっていると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>登録される物件は一定の品質がないと成約まで至らないという中で、そもそも登録をしていただけない物件が増えていきます。登録物件を増やすことも行っているのですが、なかなか増えていかない状況がございます。</p>
<p>委員</p>	<p>P17の市のPR動画の再生数ですが、この数字は担当の方がたまにクリックすれば達成するような数字だと思います。私の先輩に、臼田でYouTuberをやっていて100万回再生、登録者も10万人以上いて、動画の作り方とかも研究されている方なので、相談すれば、手伝ってくれると思います。</p> <p>また、企業誘致の関係ですが、世界情勢を理由にしまうと、来年度はコロナで達成できませんでした、になりかねないし、世界の情勢は日本全国どこでも同じだと思うので、理由の分析内容には気を付けてもらいたいと思います。</p>
	<p style="text-align: center;">【事務局から（3）説明】</p>
<p>委員</p>	<p>工場誘致ということがあるんですが、例えば、大手企業の経理部門を持ってくるとか、人事部門を持ってくるとかというのも効果的だと思います。うちの取引先ですが、人事部門は大連に置いています。人件費が安いから。</p> <p>大企業の一部門が事務所を移すとか、今回のコロナで、テレワークで移住した人多いですよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>国も様々な優遇税制等により、本社機能の地方移転を進めているところですので、市も便乗しながら、工場誘致だけではなく、本社機能も含めて誘致を進めております。</p>
<p>委員</p>	<p>P24の佐久大学・佐久大学信州大学短期大学部からの地元企業等への就職者数ですが、目安値をどんどん増やしていますが、大学の入学者が年々増えていけばいいが、入学の定員が同じであれば、毎年コン</p>

事務局	<p>スタントな数値でもいいのではないかと思います。あまり無理をした目標を設定しないほうが良いと思います。</p> <p>目標値をどこかで下方修正しなければならなかったと思います。</p>
委員	<p>卒業生のような母体が毎年変わるようなものは、目安値を%にしたほうが良いと思います。卒業生のうち何%が佐久市に就職したか、のほうが良いと思います。年の影響を受けづらいと思いますので。</p>
委員	<p>地元就職は、学生で新卒Uターンだけを考えているのでしょうか。また、ちょっと別の所で働いて帰ってくる人への働きかけはどうしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>戦略上の目標値は新卒がメインですが、市として、新卒の皆さんだけをターゲットにしているわけではないので、移住補助金を活用しながら幅広い年齢層の移住者を増やしていきたいと考えています。</p> <p>Uターンしてくる時に問題になるのは働き口でありますので、市でも地方版ハローワークで2名の就職支援員を置き、移住の際にはお手伝いをさせていただいております。</p>
委員	<p>盆とか正月に帰省する人に向かってアピールする企業もあるかと思いますが、そういう施策はありますか。</p>
事務局	<p>P23の「イベント・見学会参加企業への就職者数」が、まさにおっしゃっていただいた、集団就職相談会であったり、職業安定協会とともに相談会をやったりと、今年もお盆に帰省する皆さんをターゲットに相談会を開催しようと考えております。ただ、コロナ禍で開催を悩んでいるところです。</p>
事務局	<p>先ほどお受けいたしましたご質問の回答ですが、P6の「空き店舗対策事業を活用した創業件数」に関し、家賃補助を3年間にわたって行っていることもあって、実際やり始めたけれども苦しくなって辞めた店舗は把握できますが、補助の期間を過ぎたものは把握できていないのが実情とのことです。また、補助の期間内に辞めてしまう割合は、10～15%くらいでございます。</p> <p>P15の「移住者の雇用に対する補助」ですが、雇用の継続期間は3</p>

委員	<p>ヶ月で企業に補助金が出るようになっております。</p> <p>【地方創生関係交付金】 進行管理について</p> <p>【事務局からアについて説明】</p> <p>私の持っているCCRCのイメージだと、金持ちが早く退職して使うイメージ。佐久へは何か目的を持って移住してくる人は多いが、ここで単純に暮らしたいという人はいないと思います。</p>
委員	<p>【事務局からイについて説明】</p> <p>【事務局からウについて説明】</p> <p>ぴんころ地蔵を用いた地蔵健診や移住ウェブマガジンへの医療特集記事の掲載は20代～40代をターゲットにしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>令和元年度は、そのようなテーマで認知度、「シル」に取り組んだところですが、どちらかというと若者向けではなかったように思います。</p> <p>ただ、これによって佐久を知っていただいたということをお聞きしています。</p>
委員	<p>【事務局からエについて説明】</p> <p>【事務局からオについて説明】</p> <p>目安値に設定されている外国人人材ですが、需要とのリンクはされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>設定の根拠が、県の予測データで、佐久市では5年後に需要に対する供給が85%程度となってしまうと見込みがあり、足りない15%のうちの半分を外国人材で補おうと設定したものでございます。令和元年度は10人の目安値に対して22人も来ていただいたので、概ね順調であるのかなと思っております。</p>

